

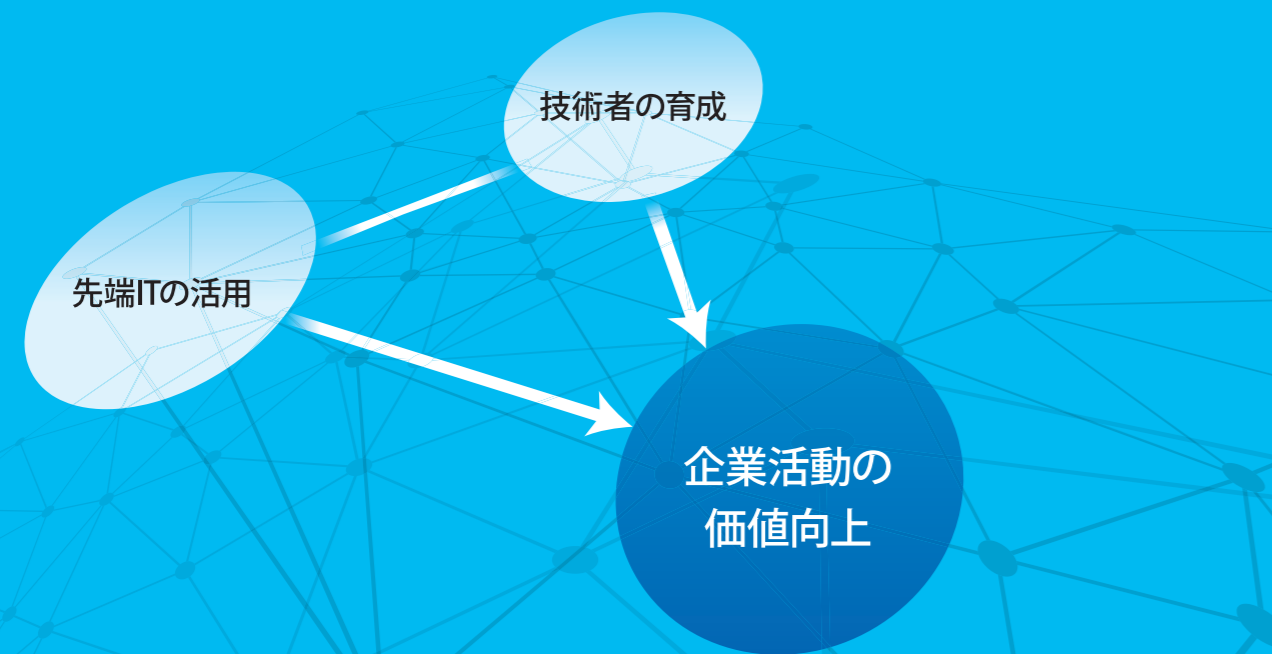
先端ITを学び、評価し、 実践へ活かす。

IT分野では、次々と目まぐるしく新しい技術が生まれ、そのいくつかは瞬間に進化を遂げていきます。

一方で、企業情報システムにおいては、先進性だけでなく、安定性や機密性などが求められ、そのための研究・検証などを行うために、先端ITの適用に時間がかかるという課題があります。

この課題を解決するために発足したのが、「先端IT活用推進コンソーシアム(AITC)」です。先端IT分野について、複数の企業が共同で研究・検証・実証などを行うことにより、企業における先端ITの適用サイクルを早め、同時に先端ITに知見の深い技術者を育成し、もって先端IT活用による企業活動の価値向上に資することを目的として活動します。

また、本コンソーシアムの活動によって、安定性や機密性を求める社会基盤にも先端ITの活用が進むよう、活動の発展を目指してまいります。



次のIT、ともに目指しませんか？

本コンソーシアムの趣旨に賛同し、都会活動などに参加、ご協力いただける会員を募集しています。

参加者のメリット

業種や企業の枠を超えた人的ネットワークを構築できます。また各界エキスパートの講演に触れ、自身も発表の機会を持つことで、知識に加えプレゼンテーション能力の向上が期待できます。

参加企業のメリット

先端ITに明るい技術者を先行して育成できます。さらに自社戦略や製品の普及マーケティングの場、普及啓発の場として利用することが可能です。

さらに、特典

- ・本会が主催するセミナー、勉強会、部会、発表会に、人数の制限なく無料で参加。
- ・会員限定の報告書や事例集なども閲覧可能に。

参加者の声

最大の特長は、積極的に活動しているIT技術者と長期間にわたり交流でき、知識、技術を伝播しあい相互にレベルアップできることです。メンバーの幅が広く、実務経験豊かな方、最新技術に強い方、さらに行政関係の方などが参加しており、さまざまな視点が得られます。ビジネス制約の少ない環境で納得がいくまで探求していくという経験は技術者として大切なものだと感じます。

(会員会社 技術職 Aさん)

教養セミナー的な活動に終わらず、目的が明確にあり最新技術を駆使できる、という運営コンセプトが素晴らしいです。各方面の有識者や各社の技術者、経験豊富なITマネジメント能力を有した方々が企業間を超えて協働し、大いに力を発揮できるのは他にはあまり例がないと思います。仲間たちとのディスカッションを通じて得られる知識や技術は、かなりハイレベルなものであり、会社内の議論だけでは絶対に到達できないものでしょう。

(会員会社 経営者 Bさん)

会費

| | |
|------------|------|
| 法人および個人事業主 | 10万円 |
| 個人会員 | 1万円 |
| 学会会員 | 3千円 |

問い合わせ

staff@aitc.jp (AITC事務局)

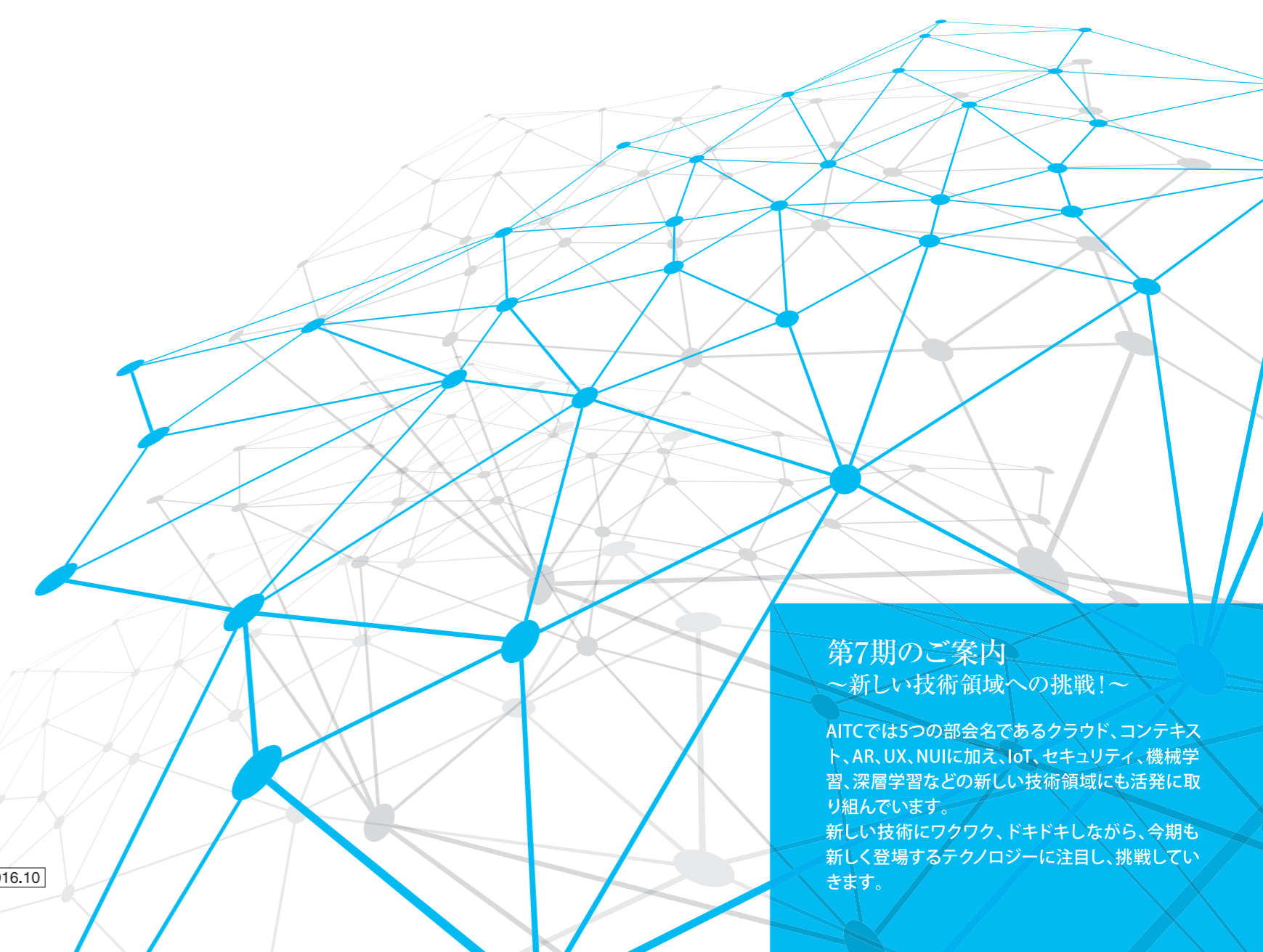
入会申し込み

<http://aitc.jp/join/form.php>

先端IT活用推進コンソーシアム

Copyright © 先端IT活用推進コンソーシアム 2016 All rights reserved.

知を結集し、ITの次のカタチを見い出す。



第7期のご案内

～新しい技術領域への挑戦！～

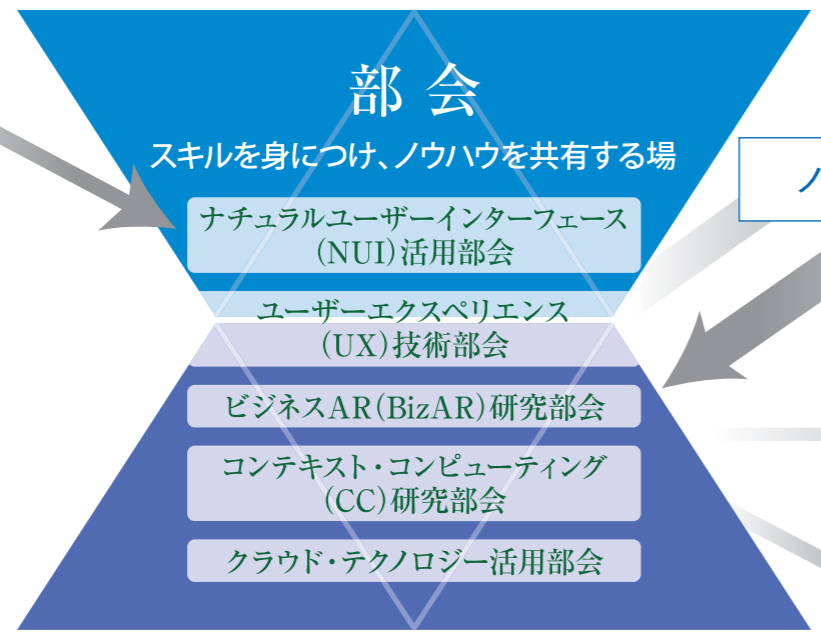
AITCでは5つの部会名であるクラウド、コンテキスト、AR、UX、NUIに加え、IoT、セキュリティ、機械学習、深層学習などの新しい技術領域にも活発に取り組んでいます。新しい技術にワクワク、ドキドキしながら、今期も新しく登場するテクノロジーに注目し、挑戦していきます。

2016.10

5つの部会を中心に、ITの最先端を追究する。

**部会のシーズ
セミナー・勉強会**

- 最新情報を入手する場
- 内外著名人による講演、交流の場
- 特定の先端ITに関して、参考文書を読み、試しに使ってみる場



AITCオープンラボ

部会で得た知見を伝播する場
参加者の反応や要望を
部会へフィードバックする場

IT女子プログラム

先端ITの知識やスキルを取得する場
女性の視点や感覚を付加しつつノウハウを深める場
人的ネットワークを広げる場

シニア技術者プログラム

若手技術者との交流の場
長年培った知見・経験の伝播の場

月1回程度の開催で
スキルと知見の伝播

ノウハウを展開

協働プロジェクト

部会間／外部団体との連携で研究を行う場

部会・プロジェクトの
成果を発信

部会横断・外部
との連携

発表会・シンポジウム

実活動に基づく情報と知見を共有する場

セミナー・勉強会

セミナーでは、部会や勉強会のシーズとなる先端ITを取り上げ、内外著名人による講演を通じて、最新情報を入手する場を提供します。また勉強会では、早いスピードで次から次へと新技術が誕生する分野であることを意識し、特定の先端ITを短期集中(3ヶ月程度)で学習します。

部会

部会ごとに参加メンバーが活動期間と目標、そして具体的な活動内容や方法を定めて活動します。具体的には特定の先端ITについて調査をし、試用に基づき評価、アセスメントを行うことで知見を共有し、報告書の作成を目指します。参加者は定期的なミーティングやSNSの活用を通じて自己研鑽と切磋琢磨の場を持って、特定の先端ITに関する知識とスキルを深め、ノウハウを共有できることはもちろん、社外の人的ネットワークを培うことができます。

AITC オープンラボ・シニア技術者プログラム・IT女子プログラム

時に部会の活動内容・成果を基に、時に旬の技術領域を取り上げ、「勉強会」「ハンズオン」「セミナー」「わいがや・オフライン」「会社見学」「他団体との交流」など、取り扱うテーマに合わせた形態でイベントを開催します。同じテーマでも、オープンラボではバリバリ、シニアにはゆっくり&じっくり、IT女子には女性ならではの感性を活かすなど、それぞれの特性に合わせた運営を行います。会員と非会員、若手とシニアなど多様な交流の場であり、先端ITの普及・啓発・活用推進を担うオープンな活動です。

協働プロジェクト

特定の目標(特定テーマによる実証実験、報告書/提言書等の作成)のために、一定期間、複数部会が合同で、あるいは、外部組織・団体と連携し活動しています。実証実験の目的は、部会活動で得た仮説を検証することであり、外部との連携により、ユーザー視点での取り組み、データの提供、現場の助言などを受けられる利点があります。先端ITの活用例を提示し、活用推進の一翼を担う活動です。

発表会・シンポジウム

部会や協働プロジェクトでの活動内容、成果を基に、会員内や外部に対しての発表を行っています。AITC単独で開催する場、他の団体と共催する場、または他の団体が主催する場での発表を通して、部会や協働プロジェクトで培ったスキルやノウハウ、知見を社会に還元し、先端IT活用推進の実現を目指しています。

5部会概要

それぞれが明確な目的を持ち、精力的に活動を行っています。

クラウド・テクノロジー活用部会

■活動目的
幅広い情報収集を行い、調査結果を情報共有するとともに、実際にプロトシステムを開発することで、IoTと機械学習を軸にクラウドの各要素技術を活用するヒントや具体的なイメージを得るための活動を行います。

■活動内容
広範囲の各要素技術に対し、単に「知っている」だけでなく、部会参加者全員が「使ったことがある」「人に教えることができる」と言えるレベルを目指していきます。

- 測定(センシング)
- 収集(ネットワーク)
- 蓄積(KVS,クラウドサービスの利用)
- 分析(統計処理、オープンデータの利用)
- 出力(ビジュアライゼーション、プッシュ通知)

コンテキスト・コンピューティング(CC)研究部会

■活動目的
コンテキスト・コンピューティングのビジョンとして、個人や集団が階層的に連動することで、社会全体がインテリジェンス(Social Intelligence)として機能するような情報社会像を提示し、具体的な情報基盤技術を提言します。

■活動内容
●コンテキスト・コンピューティングにより実現するビジョン「人と機械(コンピュータ)の協働による情報の個人化」「社会知の形成」の検討
●2020年のITシステムにおけるSocial Intelligenceの姿と実現方法の構想
●基盤となるプラットフォームの作成、社会・ビジネスにおける応用例の提案

ビジネスAR(BizAR)研究部会

■活動目的
最先端のAR技術の把握と習得、及び今後の社会やビジネスの変化を踏まえたARの活用(ビジネスAR)について研究することを活動目的とします。さらに活動成果を発信していきます。

■活動内容
●AR産業論に関する議論と取りまとめ
●ロボティクスインターフェースによる職覚ARを用いた遠隔会議の実施と検証
●空間OS及び自宅でのトレーニングの拡張とそのための新技術の習得

ユーザーエクスペリエンス(UX)技術部会

■活動目的
UXデザイン/サービスデザインプロセスの実践を通して、利用者に、より良い体験を提供するITシステムとは何かを探究します。UXデザイン/サービスデザインプロセスの実践、評価によって得られた知見を広く提供していくことで、ITのUX向上に貢献していきます。

■活動内容
AITC発のUXデザインプロセスである「マンガ駆動開発」の完成度を高め、文書として成果を公開します。そのために、UXデザイン/サービスデザインプロセスで活用できるツールや手法の研究と実践を行います。

- 協働プロジェクト「空気を読む家」を対象にしたマンガ駆動開発の実践
- 近未来 UX の検討

ナチュラルユーザーインターフェース(NUI)活用部会

■活動目的
最新技術やデバイスの紹介などを行うとともに、NUIの特性をより引き出しより身近に使えるものとなるようなプロトタイプ開発を目指し、調査・研究を行います。その活動を通じ、直感的で誰もが使いやすいインターフェースとは何かを探究し、ビジネスやサービスにおける様々なアプリケーションの利便性の向上に貢献していきます。

■活動内容
協働プロジェクト「空気を読む家」のなかで、日常的な人間の振る舞いが自然なインターフェースとしてシステムと繋がるようなフレームワークを検討、開発します。

- NUIデバイスの技術仕様や導入事例の調査
- NUIフレームワークの開発
- デバイス、ガジェット紹介イベントの開発

協働プロジェクト「空気を読む家」

■活動テーマ
社会課題解決へのチャレンジと各部会の活動成果の活用をビジョンとして、『空気を読む家』をテーマに活動中です。近未来に実現するであろう『空気を読む家』の中で、人がどのように快適な生活をおくることができるのかというユーザー体験をデザインし、『空気を読む家』における、人とモノ・環境・社会とのスマートな関わりをAITCの各部会が取り組んでいるコンテキストコンピューティング、AR技術、ナチュラルユーザーインターフェース技術、クラウド技術を駆使して、実証実験システムの構築を行います。